

*** フィールドスタディ 飯田 ***

テーマ ; 環境と文化の都市・飯田のまちづくり、地域の伝統芸能と社会

担当者 ; 安藤俊次、辻 英史 実施人数 ; 40~45名

学習目的 ; 旧城下町である飯田市は、人口約 10 万人の典型的な地方都市です。ここでは人形劇とリンゴ並木を愛し、エコツーリズムを推進する南信州の環境文化都市として有名です。当フィールドスタディでは、人形劇フェスティバルへの参加を通し、また、環境重視のまちづくりをめざす飯田市の活動を多方面から学習することにより、新しい地域のあり方を考えます。さらに伝統的な工芸体験をしたり、周辺の妻籠（つまご）および馬籠（まごめ）地域の伝統的町並みを視察したりして、文化の伝承とまちおこしを体験的に学習していきます。

実施場所 ; 長野県飯田市（中心市街地および郊外山間部）並びに 妻籠ほか

協力機関 ; 飯田市役所

実施時期 ; 8月4日（土）～7日（火）3泊4日（注）

（注）8月4日（土）・5日（日）は、前期試験期間の最終日ですが、本フィールドスタディは飯田市のイベントに合わせて実施します。したがって、両日に試験予定の無い学生を優先します。

行程（詳細変更あり）

- 第1日 朝 東京発 午後 飯田着（全行程：貸切バス）、
午後 人形劇フェスティバル見学、夜「りんごん祭り」参加
- 第2日 行政学習（自治体経営・環境政策・観光政策ほか）、
伝統的人形浄瑠璃の鑑賞、まちづくり学習（まち歩き探検）
- 第3日 山間部に移動、山間地域の自然や民俗・歴史の現地学習
夕方 自主イベント 交流懇談会
- 第4日 妻籠および馬籠に移動 歴史的町並み保存地区 視察学習
夕刻 東京着

宿泊場所 ; 飯田市中心部、郊外山間部（*）

費用 ; 39,000円程度（宿泊費、食費代、往復及び現地交通費、保険料等を含む）

事前事後日程 ; 事前講義2回（6・7月）、事後報告会1回（9月）

評価方法 ; 現地での積極的な活躍ぶり、事後のレポート（および報告）ほか

（*）宿泊場所（予定） 砂払温泉 ; 飯田市・中心部

いろいろの宿・島畑 ; 南信州・遠山郷



2012年度 フィールドスタディ実施企画

テーマ タイトル	A 富士・伊豆の自然と陸水環境 B 酸性河川の水質改善と浅間火山活動の歴史		
担 当 者	井上奉生、長峰登記夫		
実 施 時 期	A: 9月3日(月、第1日目) 4日(火、第2日目) B: 9月6日(木、第3日目) 7日(金、第4日目)	日 程	2泊 4日
実 施 場 所	A: 富士山周辺、伊豆半島 B: 草津温泉、嬭恋村キャベツ畑、浅間火山		
協 力 機 関	A: 静岡県立農試ワサビ分場 B: 国交省品木ダム水質管理所、嬭恋村農協、嬭恋村歴史民俗資料館		
募 集 人 員	25名		
学 習 目 的	A: 富士山周辺湖沼群の湧水機構および水温・水質の実態、中伊豆地方のワサビ田の歴史、丹那断層(活断層)の実態 B: 草津温泉から流出する湯川(酸性毒水)の水質改善の実態、浅間火山の噴火災害の歴史、日本一規模のキャベツ畑見学(嬭恋村)		
行 程	A	第1日目	富士五湖の成因、白糸の滝の機構
	A	第2日目	静岡県立ワサビ田分場での講義とワサビ田見学(浄蓮の滝)、函南町田代盆地での丹那断層の活動跡見学
	B	第3日目	品木ダム水質管理所、湯川 pH 測定、草津温泉湯畑 pH 測定
	B	第4日目	嬭恋村キャベツ畑見学、浅間火山(鎌原火砕流)災害の歴史
宿 泊 場 所	A: 〒410-2211 静岡県伊豆の国市長岡 211 伊豆長岡温泉「ニュー八景園」 Tel 055-948-1500 B: 〒377-1711 群馬県吾妻郡草津町 465-4 草津温泉「桜井」 Tel.0279-88-3211		
費 用	約 40,000 円(宿泊費・昼食代・全交通費・見学科・保険等を含む) 事前講義当日に持参すること。これにより FS 参加最終確認とする。		
事前・事後 講 義 の 予 定	事前講義日程: 7月7日(土) 18:20-20:00 (資料室会議室) 事後講義日程: 9月29日(土) 18:20-20:00 (資料室会議室)		
注 意 事 項	1 事前・事後講義には必ず出席のこと 2 A/Bともに、8:45 大学正門に集合(遅刻厳禁)、解散は大学正門前 3 筆記用具・雨具は必ず持参すること 4 A/Bともに参加が必須です。 * 参加許可後に、キャンセルをしないでください。キャンセルをした場合でも、費用負担をしてもらう場合があります。		
評 価 方 法	現地での履修態度・事後講義での報告内容・レポート etc による総合評価		

*なお、今後、変更箇所があるかもしれないので、24F 掲示板には注意すること。

2012年度 フィールドスタディ実施企画

テーマ タイトル	地域において障害者とともに過ごす ー就労継続支援・生活介護活動への参加ー					
担 当 者	國則守生					
実 施 時 期	2012年7月30日（月）から2012年8月24日（金）までのウィークデイ（ただし、お盆の1週間を除く：詳細は今後発表）の3週間	日 程	合計4日間を 選択（日帰り）			
実 施 場 所	〒341-0012 三郷市半田 1212-2（『みどりの風』：就労支援および生活介護） 〒341-0034 三郷市新和 4-601（『工房・風のうた』生活介護）ほか					
協 力 機 関	社会福祉法人 緑の風福祉会（障害福祉サービス事業）					
募 集 人 員	10名程度 （施設のキャパシティの関係から1日当たり訪問者：2~4人）					
学 習 目 的	知的・精神障害者が地域で生活するために行う作業・活動を通じて地域での障害者福祉活動を理解し、各学生ができることを現場で考える。					
行 程	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 15%; vertical-align: middle;"> 第1日目 第2日目 第3日目 第4日目 </td> <td style="width: 5%; vertical-align: middle; font-size: 3em;">}</td> <td style="border: none;"> 障害者が行う軽作業、昼食準備・パン製作、廃品回収、散歩、パン販売（市役所等訪問、地域での販売）などの就労支援や生活介護の活動を行う。 （障害者の方々と一緒に同じときを過ごすことが中心） （各人の参加日程については希望を事前講義の際、申請し、調整後、グループ化する。その後の微調整も可能） </td> </tr> </table>			第1日目 第2日目 第3日目 第4日目	}	障害者が行う軽作業、昼食準備・パン製作、廃品回収、散歩、パン販売（市役所等訪問、地域での販売）などの就労支援や生活介護の活動を行う。 （障害者の方々と一緒に同じときを過ごすことが中心） （各人の参加日程については希望を事前講義の際、申請し、調整後、グループ化する。その後の微調整も可能）
第1日目 第2日目 第3日目 第4日目	}	障害者が行う軽作業、昼食準備・パン製作、廃品回収、散歩、パン販売（市役所等訪問、地域での販売）などの就労支援や生活介護の活動を行う。 （障害者の方々と一緒に同じときを過ごすことが中心） （各人の参加日程については希望を事前講義の際、申請し、調整後、グループ化する。その後の微調整も可能）				
訪 問 場 所 （日帰り）	日帰り（施設「みどりの風」は武蔵野線・新三郷駅から徒歩5分程度）	施設名	「みどりの風」 Tel 048-959-1615 「工房 風のうた」 Tel 048-952-7086 ほか			
費 用	3,000円（昼食代（500円程度/日）4日分を含む）および交通費を自己負担する					
事 前・事 後 講 義 の 予 定	・事前講義は6月9日（土）午後3時30分から午後5時00分まで、 ・事後講義は10月6日（土）午後3時10分から午後4時40分まで （双方とも、施設関係者が来校し説明や意見交換を行う予定）					
注 意 事 項	・7月末、8月初めを選択する場合には、定期試験に重ならないように注意すること ・事前・事後授業に正当な理由があり参加できないものは事前に申し出ること（代替の方法を相談のこと）					
評 価 方 法	フィールド・スタディ計4日間（既定のフィールド・ノートの提出を含む）および事前・事後講義への参加・活動状況ならびに課題メモの提出・編集を総合評価する					

2012年度 フィールドスタディ実施企画

テーマ タイトル	多摩川 138km をたどる！源流域から河口までの流域圏と持続可能な地域社会		
担 当 者	小島 聡		
実 施 時 期	8月16～17日、24日、28日	日 程	1泊2日 +2日
実 施 場 所	山梨県小菅村、東京都日野市、神奈川県川崎市		
協 力 機 関	NPO 法人多摩源流こすげ、日野市、NPO 法人多摩川エコミュージアム、川崎市、国土交通省		
募 集 人 員	18～20名程度		
学 習 目 的	首都圏を流れる多摩川の源流域の小菅村、中流域の日野市、下流域の川崎市の3カ所を訪れ、山村、郊外都市、大都市それぞれの地域環境をはじめとする持続可能な地域社会に関する課題について学びます。さらに多摩川 138km を視野に入れて、流域圏全体での持続可能な地域社会のありかたについても展望します。		
行 程	セクション1：源流域（山梨県小菅村）8月16日～17日（1泊2日） 「源流域の持続可能な小菅村をめざして」 セクション2：中流域（東京都日野市）8月24日（日帰り） 「東京郊外の清流のまちのフィールドミュージアム」 セクション3：下流域（神奈川県川崎市）8月28日（日帰り） 「多摩川の環境再生と現在」、「川崎市の多摩川プランとまちづくり」 「多摩川における市民活動と環境教育」→河口でのフィナーレ（138km のゴール）		
宿 泊 場 所	未定だが山梨県小菅村内の施設	施 設 名	
費 用	1万5000円程度（小菅村での宿泊費、昼食費、バスチャーター費、資料費等） ※各日程の自宅と最寄の駅間の交通費、24日と28日の昼食などはのぞく。		
事前・事後 講義の予定	事前講義（7月中に1回） 事後講義（9月中に1回） ※別途、参加者確定後に掲示します。		
注 意 事 項	(1) 参加許可後に、やむをえない事情を除いてキャンセルをしないでください。キャンセルをした場合でも、費用負担をしてもらう場合があります（バスチャーター費の一人あたりの費用など）。 (2) 人間環境学部の学生を代表して地域を訪問する姿勢で参加してください。		
評 価 方 法	原則、全行程への参加、FSへの意欲・姿勢、レポートによる総合評価とします。		

2012年度 フィールドスタディ実施企画

テーマ タイトル	東京いー散歩ー東京の都市環境を考えるー		
担 当 者	後藤 彌彦		
実 施 時 期	9月4日、6日、11日、13日（計4日）	日 程	0泊 日
実 施 場 所	東京23区内		
協 力 機 関	未定		
募 集 人 員	10人		
学 習 目 的	江戸と東京の歴史的遺産及び文化的遺産、環境と法律に関する資料館、公園施設等を訪ね、今後の都市環境、都市景観、都市の緑を考える。		
行 程	<p>行程案</p> <p>9月4日 清澄白河から両国へ</p> <p>9月6日 上野から水道橋へ</p> <p>9月11日 王子から駒込巣鴨へ</p> <p>9月13日 虎ノ門から皇居外苑へ</p> <p>上野から水道橋の場合の予定コース</p> <p style="padding-left: 20px;">10時上野公園口ー上野公園ー不忍池ー旧岩崎邸ー東大（13時昼食）ー菊坂ー水道歴史館ー水道橋</p>		
宿 泊 場 所	住所〒	施設名	TEL
費 用	有料施設入園料約2000円と昼食費、交通費		
事前・事後 講義の予定	各1日 日程未定		
注 意 事 項	<p>(1) 参加許可後に、キャンセルをしないでください。</p> <p>(2) 申し込みが多い場合</p> <p style="padding-left: 20px;">FSの内容は 環境法、行政法の基礎、研究会等担当の後藤の講義に関連するので、これらの講義を受講済みの者を優先する。申し込みを受講状況を記入してください。</p>		
評 価 方 法	レポート		

2012年度 フィールドスタディ実施企画

テーマ タイトル	吉川FS ブナの森から農業と農村を考える		
担当者	田中 勉		
実施時期	8月19日(日)～22日(水) 確定	日程	3泊4日
実施場所	新潟県上越市郡吉川区 (旧 吉川町)		
協力機関	吉川区総合事務所、JAえちご上越吉川支店、吉川土地改良区、旭土地改良区(株)よしかわ杜氏の郷、農事組合法人 竹直生産組合、石谷・川谷地区の農家のみなさん		
募集人員	20～25名		
学習目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ブナの森から水田地帯にかけての吉川の美しい自然にふれる。 ・ブナの森の保全と水系の利用、棚田の多面的機能、農業と自然環境などについて学び、食料自給率、食の安全、農業のあり方を考える。 ・高齢化、過疎化している農業集落の将来について考える。 ・訪問先の関係者との親交を深める。 		
行程	<p>第一日目 開講式： 講義：「吉川の農業と農村」、ブナ林と棚田利用の「ビオトープ」見学</p> <p>第二日目 ブナ林から下流までの水の流れをたどる旅 (尾神岳のブナ林、取水堰、用水路、溜池、揚水機場など)</p> <p>第三日目 農業法人竹直生産組合で「集落営農」を学ぶ、 カントリーエレベーターなど農業施設の見学 よしかわ杜氏の郷(酒蔵)見学 「中山間地直接支払制度」など農業政策の実際、山間地の棚田見学 ダイコンの種まき作業体験など</p> <p>第四日目 まとめの検討会 (詳細は参加者の希望を考慮して決定します)</p>		
宿泊場所	住所〒949-3551 上越市吉川区坪野 1458-2	施設名	吉川「スカイトピア遊ランド」 TEL0255-47-2221
費用	約 25,000円 (参加人数で若干変動します)(宿泊代(初日昼食～最終日昼食まで)、農家への謝礼、マイクロバス実費、旅行保険料などを含む)		
事前・事後 講義の予定	<p>説明会を行います①5月11日(金)②5月14日(月) いずれも昼休みB T 24F資料室内会議室</p> <p>事前講義 第1回：5月26日(土)午後3時20分～4時30分 第2回以降は参加者と相談して決めます</p>		
注意事項	(1)参加許可後に、キャンセルをしないでください。キャンセルをした場合でも、費用負担をしてもらう場合があります。(2)農村問題、農業政策、食糧自給率、棚田、環境保全型農業、など、自分のテーマを持って参加することが望ましい。		
評価方法	事前・事後学習への出席状況、レポート、を総合評価します		

2012年度 フィールドスタディ実施企画

テーマ タイトル	科学博物館で学ぶ		
担当者	谷本勉		
実施時期	各自の計画による（夏期休暇中～10月末まで）	日程	4日以上
実施場所	国立科学博物館（東京）他，各自の関心に応じて決定する		
協力機関	特になし		
募集人員	20人		
学習目的	市民の科学リテラシー（身につけておくべき科学の知識と素養＝科学力）を高めることを期待されている各地の科学博物館で，各自の関心のあるテーマを見つけて，自身の科学リテラシーを向上させると共に，科学博物館利用のノウハウを修得することを目的とする		
行程	各自の選択による．例えば国立科学博物館附属自然教育園（港区）では大学生向けの『野外生態実習』を毎年8月を中心に複数のテーマで2～3日間実施している．『自然観察会』も多くのテーマで実施されている．参加者は，各地の科学博物館の企画に通算4日以上参加して，大学の外の知の現場を体験し，自然環境について多面的に学ぶことになる		
宿泊場所	宿泊を要する企画に参加するの也可	施設名	
費用	企画によって受講料が必要なものもあるが，原則的には実施場所までの交通費，入館料，食事代が主な費用となる		
事前・事後 講義の予定	参加者が確定した段階で相談して決定したい		
注意事項	グループ学習ではなく，個人参加型のフィールドスタディである．自分で博物館の企画を調べ，参加し，報告することが必要である		
評価方法	事前の計画書と事後の報告書を中心にして総合的に評価する		

2012年度 フィールドスタディ実施企画

テーマ タイトル	自然エネルギー・自然保護と地域社会の再生		
担当者	西城戸 誠		
実施時期	2012年8月27日～8月30日(31日)	日程	3(4)泊4(5)日
実施場所	青森県鱒ヶ沢町、五所川原市		
協力機関	(有)白神アグリサービス、鱒ヶ沢町、津軽鉄道サポーターズクラブほか		
募集人員	20名程度		
学習目的	<p>(1) 市民風車事業を事例として、自然エネルギーの普及・環境問題の解決と地域社会の諸活動に関する理解を深める。</p> <p>(2) 白神山地、赤石川を通して、自然保護と地域社会との関係を理解する。</p> <p>(3) 奥津軽地域の着地型観光および地域再生に関する理解を深める。</p>		
行程	<p>8月27日 リンゴ農家、木材ペレット生産現場の見学・作業実践</p> <p>8月28日 鱒ヶ沢町役場訪問、鱒ヶ沢中村地区の地域活動の見学体験</p> <p>8月29日 白神山地(ミニ白神)訪問・市民風車ほか関連施設見学</p> <p>8月30日 津軽金山焼き等、五所川原・観光資源の見学</p> <p>(OPツアー:8月31日 五所川原地域観光と地域再生ワークショップ)</p> <p>*8/30 午後以降については、オプション参加とする。志望書の提出の際には、オプションを希望するかどうかを明記すること。</p>		
宿泊場所	住所〒038-2761 青森県西津軽郡鱒ヶ沢町 大字舞戸町字上富田116-1	施設名	ホテル山海荘本館 TEL0173-72-5111
費用	約 42000 円(現地までの交通費は含まない) OPツアーの参加者は約 51000 円		
事前・事後 講義の予定	<p>ガイダンス1回(5月中旬の土曜日)</p> <p>事前学習会3回(6,7,8月の土曜日に実施)</p> <p>事後学習会1回(10月に実施)</p>		
注意事項	<p>(1) 参加許可後に、キャンセルをしないでください。キャンセルをした場合でも、費用負担をしてもらう場合があります。</p> <p>(2) 事前講義の日程については、後日掲示する。各自、確認をしておくこと。</p> <p>(3) 募集人数が一定数に達しない場合は、実施しません。</p>		
評価方法	事前準備・学習、現地での活動、事後活動(レポート作成)		

2012年度 フィールドスタディ実施企画

テーマ タイトル	生業を中心とした地域社会のレジリエンス形成		
担 当 者	西城戸・辻・武貞		
実 施 時 期	2012年8月6日～12日、8月20-26日 9月3-9日 日	日 程	6泊 7日
実 施 場 所	宮城県石巻市北上町十三浜地区・橋浦地区ほか		
協 力 機 関	NPO 法人パルシック		
募 集 人 員	各回3-4名		
学 習 目 的	東日本大震災による津波被害を受けた、石巻市北上町における、生業の再創出を体験しながら、被災地域のレジリエンス（回復力）の形成について学ぶ		
行 程	1日目 現地の視察 2日目～7日目 生業支援の実践的な活動を行う（活動内容は、農業・漁業支援活動全般、仮設住宅支援等も含む）		
宿 泊 場 所	住所 未定	施設名	TEL
費 用	約 20,000 円（現地までの交通費は含まない）（予定）		
事前・事後 講義の予定	ガイダンス1回（5月中の土曜日） 事前学習会1回（7月の土曜日に実施） 事後学習会1回（10月に実施）		
注 意 事 項	(1)参加許可後に、キャンセルをしないでください。キャンセルをした場合でも、費用負担をしてもらう場合があります。 (2)事前講義の日程については、後日掲示する。各自、確認しておくこと。 (3)募集人数が一定数に達しない場合は、実施しません。		
評 価 方 法	事前準備・学習、現地での活動、事後活動（レポート作成）		

2012年度 フィールドスタディ実施企画

テーマ タイトル	歴史的環境(史跡・文化的景観)の保全を考える(伊豆・箱根など)		
担当者	根崎 光 男		
実施時期	2012年7月15日(日)、9月3日(月)～9月5日(水)	日程	2泊4日
実施場所	静岡県三島市、神奈川県箱根町、埼玉県さいたま市		
協力機関	静岡県三島市教育委員会、さいたま市見沼地域ガイドクラブ		
募集人員	20名以内		
学習目的	歴史の歩みのなかで残された史跡・自然遺産・文化的景観を実際に見学し、各自治体における保存の取り組みや諸課題を学習する。今回は、旧東海道関連史跡としての石畳・杉並木・一里塚などが残る三島市・箱根町と、江戸時代に開発された見沼新田関連の見沼通船堀・見沼田圃などがあるさいたま市の取り組みを学ぶ。		
行 程	<p>さいたま市 7月15日(日) 現地集合、見沼地域ガイドクラブ会員の案内により、西校斜面林→見沼通船堀→見沼田圃(民家園)などを見学。現地解散。</p> <p>箱根町～三島市</p> <p>9月3日(月) 現地集合、町内観察(登山鉄道・ケーブルカー・ロープウェイ・遊覧船・バスを利用して箱根町の観光資源をめぐる)。</p> <p>9月4日(火) バスと徒歩で、箱根町の旧東海道石畳→箱根関所→箱根の杉並木→三島市の旧東海道石畳→一里塚→中世城址をめぐる。</p> <p>9月5日(水) 三島市民文化会館で三島市教育委員会学芸員から「歴史的環境保全の現状と課題」のレクチャーを受ける。三嶋大社の見学後、現地解散。</p>		
宿泊場所	住所〒 箱根町・三島市(未定)	施設名	TEL
費用	約 2万円(宿泊代2泊分・施設入館料を含む。交通費は含まない。)		
事前・事後 講義の予定	事前講義：6月23日(土) 5時限、7月7日(土) 5時限 事後講義：9月29日(土) 5時限 ※講義の場所は、いずれも B.T24 階の人間環境学部資料室会議室です。		
注意事項	(1)参加許可後に、キャンセルをしないでください。キャンセルをした場合でも、費用負担をしてもらう場合があります。 (2)事前・事後講義、全行程への出席、レポート提出などが単位取得の条件です。 1日でも欠席した場合、単位は取得できません。 (3)事前講義中に参加費用を徴収します。未納入学生は辞退者とみなします。 (4)他のフィールドスタディ参加者は、その旨を申込書に記載してください。		
評価方法	レポートや事前・事後講義での学習態度などを総合的に評価する。		

2012年度 フィールドスタディ実施企画

テーマ タイトル	A：企業とNPOが支える有機農業 B：企業家に学ぶCSR（大原孫三郎と倉敷紡績）		
担 当 者	長谷川直哉		
実 施 時 期	A：8月6～7日または7～8日 B：8月8～9日または9～10日	日 程	ABとも 1泊2日
実 施 場 所	A：埼玉県大宮市および小川町 B：東京都および岡山県倉敷市		
協 力 機 関	A：株式会社OKUTA、NPO法人生活工房つばさ・游、霜里農場 B：株式会社クラレ、倉敷歴史景観地区（倉敷紡績産業遺跡、大原美術館ほか）		
募 集 人 員	15～20名		
学 習 目 的	A：LOHAS なりフォームで急成長を遂げるOKUTAの経営戦略を学び、同社がCSRの一環として小川町で取り組む有機農業支援の（Community Supported Agriculture）現場に触れる。 B：本学大原社会問題研究所の創設者であり、明治～大正期に倉敷紡績社長として数々のCSR活動を行った大原孫三郎足跡に触れる。		
行 程	<p>【A】（1泊2日）</p> <p>第1日目 埼玉県小川町における農商工連携の現場に触れ、有機農家、企業、NPOによるレクチャーを受講し意見交換を行う。</p> <p>第2日目 大宮市の（株）OKUTAの本社を訪問し山本社長のレクチャーと意見交換、社員との対話を行う。</p> <p>【B】（1泊2日）</p> <p>第1日目 株式会社クラレ（東京都大手町）本社CSR部を訪問し、同社を創設した大原孫三郎の経営理念と同社のCSR活動に関する講話を受講し意見交換を行う。同日午後、岡山県倉敷市へ移動。</p> <p>第2日目 倉敷紡績の工場跡、倉敷中央病院などを見学するとともに、大原美術館でレクチャーを受講する。</p>		
宿 泊 場 所	住所〒 A：埼玉県小川町 B：岡山県倉敷市	施設名	後日掲示する Tel
費 用	約 未定 円（ を含む） ※現地までの交通費、宿泊代		
事前・事後 講義の予定	7月21日（土）2限 9月29日（土）2限		
注 意 事 項	(1) 参加許可後に、キャンセルをしないでください。キャンセルをした場合でも、費用負担をしてもらう場合があります。 (2) A・B参加が必須です		
評 価 方 法	事前・事後学習、現地での参加状況とレポートの内容をもとに総合的に判断する。		

2012年度 フィールドスタディ実施企画

テーマ タイトル	障害者福祉の体験		
担当者	堀内行蔵		
実施時期	2012年8月1～31日	日程	3泊4日
実施場所	群馬県碓氷郡松井田行田52 ゆきわりそうの山荘		
協力機関	NPO法人 ゆきわりそう (担当: 姥山剛、豊島区南長崎6-34-7、TEL: 03-3950-2002)		
募集人員	10名程度		
学習目的	障害者と一緒に合宿し、福祉活動の大変さを実際に体験し、人間としての生きかたを実感する。人間形成のためのフィールドスタディである。フィールドスタディ開始時から続くロングラン・プログラムである。		
行程	<p>1日目: 東京都豊島区の「ゆきわりそう」からバスで出発する。</p> <p>2・3日目: プログラムにしたがって、山荘で担当する障害者と一緒に行動し、寝食をともにする。</p> <p>4日目: バスで東京に戻る。</p> <p>プログラムには、ゴロ野球、体操、絵画、音楽、乗馬、マラソンなどがある。参加者はゆきわりそうと相談の上、プログラムを決める。</p> <p>プログラムには、2泊3日と3泊4日の2種類がある。</p> <p>障害の程度によってプログラムが分かれるので、事前講義で確かめること。2泊3日のプログラムの方が大変である。</p>		
宿泊場所	住所〒379-0226 群馬県碓氷郡松井田行田52	施設名	TEL 027-380-7088
費用	5000円 (食事、交通費などすべてを含む)		
事前・事後講義の予定	7月に事前講義、9月に事後講義を行う。		
注意事項	必ず、7月中に、ゆきわりそうに行き、プログラムを体験しておくこと。		
評価方法	フィールド・ノートの提出と事前・事後講義の出席		